

伊予市地域包括支援センターだより

いきいき通信

NO. 3

認知症になっても

安心して暮らせる伊予市に！

認知症の方や家族を支える

取り組みを始めています

急速な高齢化に伴い、認知症高齢者の増大が大きな社会問題となっています。伊予市においても例外ではなく、高齢者の約1割の方が、認知症の症状を抱えています。

伊予市では、認知症になっても安心して、住み慣れた地域で暮らせるまちづくりを目指して、さまざまな取り組みを始めています。

※認知症の方や家族が安心して暮らすことができる伊予市にするためには、認知症の方や家族の不安を取り除くための温かい見守りなど、そこに住む地域の皆さんの支援が何よりも必要です。

どのような取り組みを

行っているの？

①認知症の正しい知識の普及啓発
集会所や公民館で、認知症についての講演や講話を行うことにより、市民への正しい知識の普及啓発を図ります。

②認知症サポーターの養成

◇地域の認知症の方や家族を温かく見守り、優しい言葉を掛けてくれる認知症サポーターを増やしていきます。

◇養成講座は一時間程度の研修で、どなたでも受講できます。

◇認知症の症状に対する働きかけの方法や家族の支援などについて学びます。



認知症サポーターの証「オレンジリング」
オレンジリングをしている方は、認知症サポーターです。

③地域資源マップの作成

◇市民の皆さんが利用できる社会資源を盛り込んだマップ(地図)を作ります。

◇認知症の予防や相談支援のできる場所、利用できるサービスなどを掲載します。

④徘徊SOSネットワークの構築

徘徊(はいかい)SOSネットワークは、徘徊高齢者の保護と家族のサポートを目的に、平成18年12月に伊予市社会福祉協議会において構築されました。地域での支援ネットワークにより、認知症の高齢者やその家族をサポートします。

※研修会やサポーター養成講座の要望、意見・提言等は、長寿介護課又は伊予市地域包括支援センターへお問い合わせください。

Ⅱ介護予防事例紹介Ⅱ

『しおさい倶楽部』

しおさい倶楽部は、今年1月に結成され、伊予市市民体育館で毎週2回、健康体操を中心に活動しています。

発起人の渡辺さん(森)は、「上吾川いきいき健康クラブ」に参加し、この活動をもっと多くの方に広めたいと仲間に呼びかけ、今年の1月に「しおさい倶楽部」を結成しました。

毎回40人以上の会員が、松本陽子健康体操研究所の先生の指導に耳を傾け、健康体操に汗を流しています。

発起人の渡辺さんは、健康体操をはじめとした介護予防活動や高齢者のコミュニケーションづくりの輪をもっと広げたいと目を輝かせていました。



「しおさい倶楽部」の活動の様子
会場には、掛け声や笑い声が絶えません

伊予市地域包括支援センター

(伊予市役所1階長寿介護課内)
☎982-1111(内線544・555)